

広報資料

平成 29 年 5 月 1 日 (月)

報道各位

株式会社エフエムあやべ (FMいかる)

第 19 回日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会

近畿コミュニティ放送賞受賞のご案内

## 2 年連続、2 部門で最優秀賞を受賞

特別番組部門『立ち上がる集落の挑戦～水源の里の 10 年～』

CM部門『ブックオフ/オフハウス (福島文進堂)』

拝啓

薫風の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4 月 29 日 (金) 西宮市民会館で開催されました第 19 回日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会近畿コミュニティ放送賞で特別番組部門『立ち上がる集落の挑戦～水源の里の 10 年～』、CM部門『ブックオフ/オフハウス (福島文進堂)』の 2 部門で最優秀賞を受賞しましたので以下の通りご案内申し上げます。

敬具

授賞式の写真をご提供いたしますので、お問い合わせいただければ幸いです。

**【放送賞の概要】**

関西コミュニティ放送賞（第9回より近畿コミュニティ放送賞と名称変更）は、（一財）日本コミュニティ放送協会（略称：J C B A、本部：東京）傘下の近畿コミュニティ放送協議会（27社加盟）が主催するコンテストで、コミュニティ放送業界では唯一の作品コンテストとなっています。本賞は、地域文化の拠点として活動を続けるコミュニティ放送各局が、互いに切磋琢磨することにより、放送内容の向上を図り、より聴取者ニーズに沿った放送の確立を目指すとともに「コミュニティ放送」という共通の基盤に立って、放送文化の創造を担う放送マン相互の交流をはかる目的で平成11年創立（平成10年度の作品を審査）されました。今回は6部門70作品の過去最多の作品がエントリーされました。

**【タイトル】** 第19回日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会近畿コミュニティ放送賞

**【開催日】** 平成29年4月29日（金）

**【開催場所】** 審査会場：西宮市役所

表彰式：西宮市民会館

**【対象作品】** 2016年1月1日～12月31日の間に放送された放送番組、CM、

活動した事例、およびコミュニティ放送活動に顕著な功績のあった個人

**【部門】** 情報・教養番組部門／娯楽番組部門／特別番組部門／

CM部門／CMソング部門／放送活動門／パーソナリティ賞

この件につきまして、お問い合わせは、  
（株）エフエムあやべ・井関/真下までお願いします。  
TEL：0773-42-9988 FAX：0773-42-9977

## ※最優秀賞受賞

### ③ 特別番組部門

番組名	立ち上がる集落の挑戦～ 水源の里の10年～
放送日時	2016年12月30日13時00分～14時58分
制作意図	<p>65歳以上の高齢者が集落の半数を超え、消滅の危機に面した「限界集落」。深刻な過疎高齢化に悩む限界集落は、平成27年の調査では、全国で15,000集落を越え、10年間で2倍になった。「村おこしなんかいくらやっても無駄だ」、そんな悲壮感が漂う限界集落を綾部市は「水源の里」と位置付け、10年前から再生を図る試みを始めている。「水源の里」が始まった頃の8年前は、住民に危機感とあきらめばかりがあった。今回、新たに取材をすると、集落を再生できるという確信と自信が戻り、その取り組みは、全国の過疎高齢化に悩む地方の共感を呼び国民運動へと広がりさえ見せている。</p> <p>10年前、綾部市で各地の自治体関係者を招いた第1回全国水源の里シンポジウムが開催された。そして、10年後の平成28年10月、綾部市で、再び「全国水源の里シンポジウム」が開催されることになった。この10年で水源の里の取り組みがもたらしたものは何だったのか、そして、このあと10年、水源の里はどうなっていくのか。その答えが、シンポジウムで出される。そのシンポジウムの前にして再び、集落を取材することにした。集落に住み続けた住民の気持ち、Uターン者、Iターン者の思い。水源の里の10年間の意義を問う。</p>
番組概要	<p>番組は8年前のインタビューから始まる。そして、集落に住み続けた住民、Iターン者、Uターン者、彼らを受け入れた住民、集落を支えるボランティア、全国的にも有名になった古屋の平均年齢89歳の3人のおばあちゃんたちへのインタビュー、さらにシンポジウム当日の音声などを通じて、10年間の水源の里の取り組みは集落に何をもたらしたのかを伝える。インタビューの多くは80歳を越えている高齢者、最高齢は92歳だったが、あえて10年後に集落はどうなっているかを聞いてみる。返ってきた答えは？</p>
その他	<p>水源の里が始まったばかりの集落を取材し、その取り組みを紹介した特別番組「槌音が響く水源の里」は、第12回(平成22年度)近畿コミュニティ放送賞特別番組部門で最優秀賞を受賞しました。今回の作品はその続編として、8年後の住民への取材を通じて意識の変化をまとめたものです。また、2時間番組のうち、後半の1時間はシンポジウムでのパネルディスカッションをダイジェストでお送りしました。</p>
出演者	下田えつ子(ナレーション)、集落の住民、Uターン者、Iターン者、ボランティアなど水源の里に関わってきた人たち

## ※最優秀賞受賞

### ④ CM部門

作 品 名 (スポンサー名)	ブックオフ/オフハウス (福島文進堂)
放送日時(or 期間)	2016年10月1日～現在放送中
制作意図	ブックオフ、ハードオフ、オフハウスを運営(フランチャイズチェーン)されている大型書店の福島文進堂に営業するにあたり、先にCMデモを作って気に入って頂けたらCM契約を頂く営業手法を取った。制作するにあたりとにかく面白く印象に残るCMを目指し、ブックオフ編、ハードオフ編、オフハウス編の3つのCMを制作した。
作品概要	今回の応募には、3作品の内2作品のブックオフ編、オフハウス編を一つにまとめてエントリーし、昨年流行の「GO」を共通キーワードにラジオの取材形式で制作した。ラジオの取材なので顔は映らないのに、一億円で本が売れた時(ブックオフ編)とノーメイク顔を(オフハウス編)をひねって制作した。
その他	CMのプレゼンでは、福島文進堂の社長に気に入ってもらえて二つ返事でOKのお返事を頂き、スポット3枠の受注になった。
出演者	三嶋久実(FMいかる制作課) 村上真奈(FMいかる制作課) 中村さとし(FMいかるパーソナリティ)



特別番組部門

## 第19回 JCBA近畿コミュニティ放送賞



CM 部門